

やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、兵庫を中心に大きな被害が出た阪神・淡路大震災のお話です。



阪神・淡路大震災の発生から9999日目。野島断層を保存している北淡震災記念公園には多くの児童生徒が訪れ、地震について学んだ。2日午後、淡路市小倉(撮影・吉田敦史)

阪神・淡路大震災から1万日

激震の教訓 小中高生ら受け継ぐ

阪神・淡路大震災は3日、1995年1月17日の発生から1万日目となる。地震を引き起こした野

北淡震災記念公園

島断層を保存する北淡震災記念公園(淡路市小倉)には2日、全国から修学旅行などの小中高生らが訪れ、兵庫を中心に6434人が犠牲になった激震に思いを寄せた。

公園では野島断層のうち、道や生け垣がずれた約140メートルを保存する。地震で東側が約50センチ盛り上がり、南に約1メートルずれた地形を間近で見られる。

子どもたちは断層を見学し、当時の揺れを再現する体験コーナーにも立ち寄った。修学旅行で初めて来た京都市山科区の百々小学校6年、片山仁太君(11)は「実際にこんなことがあって、家がつぶれたんだと思った。いざというときに、自分や家族の命を守りたい」と話した。

米山正幸総支配人(56)は「新型コロナウイルス禍が少し落ち着き、震災を語る機会が増えたのがうれしい。命の大切さを伝えたい」と決意を新たにしていた。

震災では3人が行方不明となり、約4万4千人が負傷。約25万棟の家屋が全半壊した。

電子版「神戸新聞NEXT」で、震災当日から震災1万日までを振り返る動画を配信しています。



6月3日の朝刊にのった記事

①阪神・淡路大震災の発生から6月3日で「1万日」になりました。震災はいつ発生しましたか

②大震災はどんな被害をもたらしましたか

③大震災の痕跡は、どこで何を見ることができますか

④それはどのように保存されていますか

⑤今、備えておかなければならない大地震には、どんなものがありますか。あなたの暮らす地域に断層はありますか？ 調べてみましょう

答えは26日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えはメール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)かはがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年または年齢を添えて6月25日必着で送ってね。正解者の中から抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

12日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①クライミング用の人工壁で、高さ15メートル
- ②1992年に神戸で開かれたワールドカップのために造られた四つの壁のうちの一つ。1993年に移設された
- ③神戸市灘区の王子公園内にある神戸登山研修所
- ④ロープを使うクライミング技術を磨く場として、山岳会や高校の部活、県警機動隊や消防の救助隊などで活用されている
- ⑤ゴルフ、マラソン、女子サッカー、ボウリングなど